

序 章

1. 計画策定の背景と目的

新庄市は山形県の北東部、最上地域のほぼ中央部に位置し、奥羽山脈と出羽山地の山々に囲まれた新庄盆地にある。市の南西部には日本三大急流のひとつ「最上川」が流れ、この最上川に神室山系を源とする泉田川、升形川、新田川などが合流し、これら河川による水田地帯が市全域に広がる、緑と水に囲まれた自然豊かな都市である。

本市のまちづくりは、新庄藩初代藩主戸沢政盛による寛永2年（1625）の新庄城築城が大きな転機となり、その時代に整備された城下町の構造が現在の市街地形成の礎となっている。新庄藩は、戸沢家11代、約250年にわたって続き、その間に培われた有形・無形の社会的・経済的・文化的遺産は計り知れないほど大きなものがあり、明治以降の新しい時代はこの上に展開された。

このような歴史的背景により育まれた本市固有の歴史や文化は、旧城下で繰り広げられる「新庄まつり」をはじめとし、神社の祭礼や各集落に伝わる伝統行事などの活動、さらには東山焼などの伝統産業として市民の手で守り伝えられており、城下の町割りや歴史的建造物とともに歴史的景観を醸し出している。

しかし、生活様式の多様化などの社会環境の変化により、城下町としての風情が失われつつあり、歴史的価値の高い建造物の適正な保存管理が困難になってきているほか、人口減少や少子高齢化の進展などにより、歴史と伝統ある行事を将来に引き継いでいくことが困難になることが予想される。そのため、市民が地域の歴史と文化に関心と理解を深めながら、守り育てる取り組みに積極的に関わることができるよう、各種取り組みを進める必要がある。

本計画は、こうした本市を取り巻く状況を踏まえながら、平成20年（2008）に制定された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（平成20年法律第40号。以下「歴史まちづくり法」という。）に基づき、本市固有の歴史的風致を守り育て、次世代に継承していくために必要な事項を定め、本市がもつ歴史的資源を積極的に活用した、新庄市らしいまちづくりを推進するため「新庄市歴史的風致維持向上計画」を策定するものである。

2. 計画期間

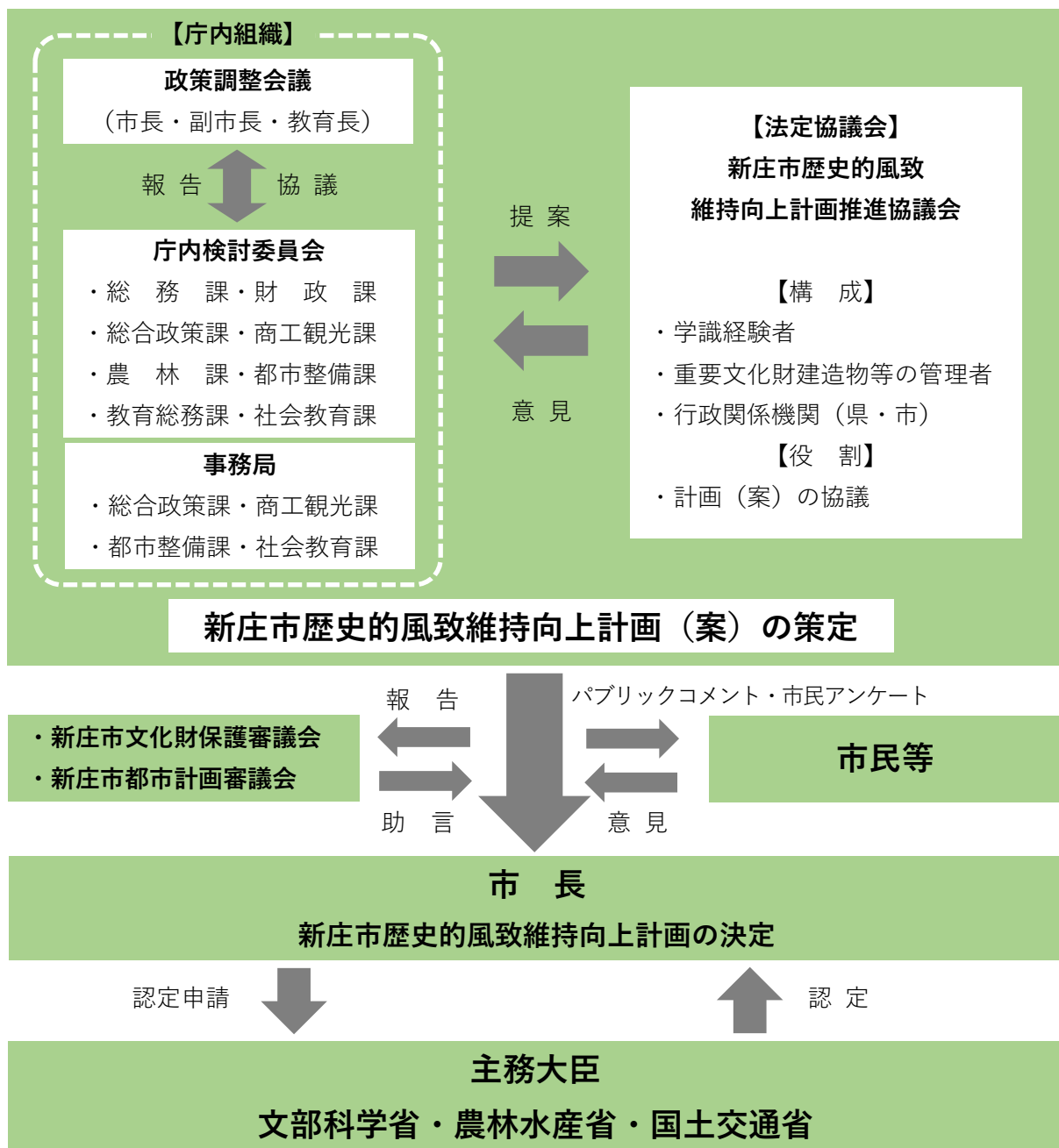
本計画の計画期間は、令和5年（2023）度から令和14年（2032）度までの10年間とする。

3. 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、庁内検討委員会において歴史的風致とその維持向上に向けた課題の整理及び事業案等の検討を行い、学識経験者や重要文化財建造物等の管理者などで構成する歴史まちづくり法第11条に基づく「新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会」において協議し、各種審議会の意見と市民アンケートやパブリックコメントによる市民意見の反映を経て、「新庄市歴史的風致維持向上計画」として決定した。



新庄市歴史的風致維持向上計画
推進協議会



計画策定の体制図

①新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会委員（令和6年6月）

No.	氏 名	所属・役職	備 考
1	後藤 治	工学院大学 理事長	会 長
2	永井 康雄	山形大学工学部 建築・デザイン学科 教授	
3	武田 一夫	新庄市文化財保護審議会 会長 新庄まつり山車行事保存会 会長	副会長
4	三浦 和枝	最上地域史研究会 幹事	
5	笹 行也	山形県建築士会新庄支部 副支部長	
6	日下 修一	新庄天満宮 宮司	
7	本堂 親愛	新庄おたまや保存会 会長	
8	柿崎力治朗	新庄商工会議所 会頭 新庄まつり実行委員会 会長	
9	中村 雪子	山形県観光文化スポーツ部 県民文化芸術振興課 課長	
10	菅原 英治	山形県県土整備部 県土利用政策課 課長	
11	佐藤 卓也	新庄市議会 議長	
12	津田 浩	新庄市教育委員会 教育長	
13	石山 健一	新庄市 副市長	

※オブザーバーとして国土交通省東北地方整備局建政部都市調整官が参加

②庁内検討委員会

区 分	役 職
委員長	副市長
委 員	総務課長・財政課長・総合政策課長・商工観光課長 農林課長・都市整備課長・教育総務課長・社会教育課長
事務局	総合政策課・商工観光課・都市整備課・社会教育課

③取材等協力者（五十音順・敬称略）

- ・ 榮光院
- ・ 新庄おたまや保存会
- ・ 新庄市区長協議会
- ・ 新庄まつり実行委員会（神輿渡御行列実行委員会、新庄山車連盟、新庄囃子連盟）
- ・ 新庄まつり山車行事保存会
- ・ 瑞雲院
- ・ 長泉寺
- ・ 鳥越八幡神社
- ・ 宝積寺
- ・ 本合海エコロジー
- ・ 矢向神社
- ・ 円満寺
- ・ 新庄観光ガイド協議会
- ・ 新庄藩校明倫堂
- ・ 新庄民具研究会
- ・ 積雲寺
- ・ 戸沢神社
- ・ 日照寺
- ・ 最上の会
- ・ 山形県建築士会新庄支部
- ・ 史跡、丸仏を守る会
- ・ 新庄観光協会
- ・ 新庄東山焼
- ・ 新庄民話の会
- ・ 雪調の会
- ・ 鳥越神楽悪魔払い保存会
- ・ 萩野・仁田山鹿子踊保存会
- ・ 最上のくらし舎
- ・ 山の神神社（黒沢・萩野集落）

4. 計画策定の経緯

庁内検討委員会及び関係課と連携を図りながら、検討を進めるとともに「新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会」や各種審議会等における意見を踏まえ本計画の策定を行った。

開催日	会議名等
令和2年10月22日	第1回庁内検討委員会
令和3年1月28日	第2回庁内検討委員会
4月23日	第3回庁内検討委員会
5月11日	第1回事務局会
5月26日	第4回庁内検討委員会
6月4日	第1回新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会
6月16日	第2回事務局会
7月7日	第5回庁内検討委員会
8月19日	第3回事務局会
9月24日	第4回事務局会
10月1日	第6回庁内検討委員会
10月21日	第5回事務局会
11月24日	第7回庁内検討委員会
12月20日	第2回新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会
令和4年1月7日	第6回事務局会
1月17日	第8回庁内検討委員会
1月27日	政策調整会議
3月15日	新庄市文化財保護審議会
3月22日	新庄市都市計画審議会
4月11日	第7回事務局会
4月18日	第9回庁内検討委員会
5月12日	第10回庁内検討委員会（現地視察）
6月14日	第11回庁内検討委員会
6月28日	第3回新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会
7月14日	第12回庁内検討委員会
7月21日	政策調整会議
7月27日	新庄市文化財保護審議会
8月19日	新庄市都市計画審議会
9月29日	第13回庁内検討委員会
10月11日	第4回新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会
10月26日～11月15日	新庄市歴史的風致維持向上計画（案）のパブリックコメント
12月12日	第14回庁内検討委員会
令和5年1月18日	新庄市歴史的風致維持向上計画 認定申請
2月15日	新庄市歴史的風致維持向上計画 認定